

《Dr. Bill, What you been thinking about today? ビル博士、今日は何を考えていたんですか?》

Shawn：体の健康に関してとても知識豊富な博士たちに来てもらいました。ビル・マナカリー博士はアロエベラの活性成分を発見した本人で、80年代にさかのぼりますが、効果を変えることなくボトルに保存する方法を見つけることができました。ジョン・ホール博士はビル博士と長年一緒に働いていて、80年代からですかね、とにかく、今日はビル博士が何を考えているのかを聞いてみましょう。いくつか質問もしてみたいと思います。

Dr. Bill：毎日新しい科学が論文になっています。私が研究を始めたころは図書館に行って検索しなければならなかったのに、今はキッチンで指先だけでなんでも見られるんです。がんにおける食物成分の総論を読み終わったところですが、要旨が64ページあります。



Shawn：学生の頃にマクロファージというものが話題だったことを覚えています。ビル博士は全ての種類の記事を見ることができるなんてクールですね。

Dr. Bill：興味深いのは、多くの主要な医療センターが、食品にできることに注目し、ノンコーディング RNA を誘導できるような食品サプリメントに注目し始めていることです。私たちは通常、DNA は主にタンパク質をコードしていると考えます。ヒトの DNA の塩基配列が決定されたとき、この塩基配列がタンパク質を作るとわかりました。私たちの DNA のうち、タンパク質を作っているのは 20 パーセントほどだったんです。そして今、残りの 80 パーセントが何をするのか分かってきました。そのほとんどは、マイクロ RNA のように食べ物によってオンになります。

この研究は、カンザス州の医療センターで行われたものですが、彼らはアムラ（または *Embilca officinalis*）に注目していて、アムラは卵巣がんを阻止するマイクロ RNA375 をオンにしているんです。これができる抗がん剤はありません。興味深いのは、このようなマイクロ RNA は 20~30 種類、あるいはそれ以上の働きをする可能性があるということです。同じマイクロ RNA が体内の他のいくつかの状態に影響を与えることもあります。これらの食べ物を食べるとスイッチが入り、体内でマイクロ RNA が作られます。

Shawn：ビル博士が何を言っているのか正確には知らないかもしれない人のために言っておくと、RNA について話すときは基本的に細胞の中のことについて話しているんです。細胞がどのように正しく動作すべきかを。

Dr. Bill : DNA は組織に関するコードを持ち、メッセージが伝えられます。しかし、長い間、我々はリボソーム RNA がメッセージを読み取り、タンパク質を作るのだと考えていました。しかし、マイクロ RNA の中にはタンパク質をコードしていないものがありますが、RNA は目的を果たしています。我々が興味を持っている COVID-19 のようなウイルスが細胞を乗っ取るようにね。ウイルスは細胞を乗っ取って自分自身を増殖させるのですが、いずれウイルスが翻訳や自己複製ができなくなるようなマイクロ RNA が見つかるでしょう。すぐに良くなる人もいますが、それは適切な食べ物を食べたか、あるいは我々がまだ発見していないマイクロ RNA を作ったのかもしれませんが。ウイルスに感染しても、すぐに治る人もいますが、その理由はまだわかりません。

Shawn : おそらく、まだ解明されていないことが要因でしょうね。ジョンはどう思います？

Dr. Hall : ビルが医学部や医療センターでこのような研究を始めていると言っていましたけれど、なぜそのようなことをしなければならないかという、薬が効かないからですね。

Dr. Bill : 薬は効かないんです。たぶん、世界中でマラリアを治療している 1200 種類の植物の話聞いたことがあると思います。この 1200 の植物のほぼすべてが調べられたけれど、有効成分は見つからなかったんです。そこで引退した有名な医師が宣教師になって、ジャングルで 5 年間働くことにしました。その結果、彼らが発見したのは植物、食用植物に含まれる成分だったんです。わかったのは、この 1 つの成分には少しの効果しかなかったけれど、他の 3、4 つの成分は大きな効果を持つ可能性があって、その成分は、マラリアがその効果に対して免疫を獲得するのを防ぐのです。つまり、1 つの成分が 1 つの効果をもたらすという考え方は止めなければなりません。食品には多くの良い効果をもたらす成分がいくつも含まれているからです。

Shawn : つまり、以前の研究者たちが諦めたのは、既成概念に囚われていたから。そして結局、その一つが見つけれずに断念してしまったんですね。食べ物が私たちに与えてくれるものは驚くべきものです。

Dr. Bill : オーストラリアではブラハミ (バコバ) がよく研究されています。ちょうどこの記事を入手したところですが、オーストラリアのすべての医療センターがこれに関与していると思います。だって、1, 2, 3...15 の医療センターが、以前数えたセンターすべてが現在研究中で、2, 3 年前にはなかった新しいセンターもいくつかあります。とにかく、彼らは食べ物がトリプルネガティブの乳がんを殺すことを示しています。現在、これに効く薬はなくて、乳がん罹患し、その後再発した場合、多くの場合はトリプルネガティブで、再発を抑える薬はトリプルネガティブには効かないんです。おそらくこれは最悪なことだと考えられます。驚くべきことに食べ物は薬のような毒性がありません。薬は経路を遮断するか刺激するのですが、食べ物はまさに経路を上方にも下方にも調節します。この動きが必要なところでね。これは食べ物にしかできません。

Dr. Hall：まるでデザインされたかのようです。ビルの素晴らしいデザインのように。

Dr. Bill：そして、悪性脳腫瘍の膠芽腫を殺すことが示されています。日本ではいくつかの素晴らしい仕事が行われていて、チャガマッシュルームが大腸がんを細胞周期 GM2 期で止めることができることを示しました。これはただ増殖を止めるだけで、食べ物によって行われます。こんな薬はありません。

Dr. Hall：つまり最初のがん細胞が発生したときにそうなるように私たちは製品を設計したということです。私たちは腫瘍ができるまで待ちたくはないです。一度に1つの細胞を処理する方が簡単です。だから私たちが食べている食べ物は、体の中でこれを実行するために使われています。食べ物がこんなことをしているなんて知ることがないのが理想です。

Dr. Bill：台湾の医療センターでは白血病に有効であることが示されました。

Dr. Hall：その研究で使っているのはひとつの食べ物に過ぎませんが、腫瘍の研究をしているところでは既に腫瘍が大きくなりすぎている人がいるそうです。理想を言えば、腫瘍が大きくなりたくないようなしたいものです。

Shawn：つまり、すでに問題を抱えているときに、その食べ物が助けになるなら、今すぐその食べ物を食べ始めればいいですね。もしかしたら、防ぐことができるかもしれない。わからないけれど、自分の体にできる限りのチャンスを与えるしかありません。

Dr. Bill：韓国の医療センターでは、大腸がんの効果的であることを明らかにしました。私の友人たちや私の両親は大腸がんになったし、祖母は抗がん剤があまり効かなかったんです。だからとにかく、自分のお気に入りの成分を調べてみることにしました。どのように作用するのかわかった以上のことがわかり、ただ驚くばかりです。そしてこれら成分には毒はありません。がん細胞ひとつあるからといってそれはがんではなくて、その細胞が無秩序に増殖してがんになるのですから、がんになる前にこれらの成分を摂る必要があるのです。日々がん細胞になった細胞を殺すのです。

Shawn：さっきの COVID の話に戻ると、COVID が細胞に接着して悪い細胞になる。ある人の体はそれをすぐに察知して取り除くことができる一方で、健康でなかったり、ここで話しているような適切な食事をしていなかったりする人は、生き延びることさえできないかもしれない。

Dr. Bill：ミルクシスル（オオアザミ）について調べてみたけれど、彼らが使ったのはミルクシスルの種みたいですね。根も葉も全部食べることができますが、葉はレタスのようなものです。実際、レタスはミルクシスルから派生したという人もいるし、サラダで見かけるあの長いレタスもそうです。ミルクシスルはヨーロッパで医療に役立っていて、アメリカに持ち込まれたんです。もちろ

ん、このミルクシスルが持っている効能をすべて発揮できないかもしれませんが、でも調べたらがんに関する文献が689報ありました。

Dr. Hall：がんはそれほど一般的な病気ではなかったんですよ。何十年も前のことだけれど、20世紀初頭、この医者が医学部で教えていて、がんを患っている人が入ってきたときに「この人はがんなんですよ」と言ったという話を聞いたのを覚えています。ジョン・アダムスに乳がんて亡くなった娘がいて、乳房切除術を受けたという話を読んだのを覚えています。ジョン・アダムスが生きていたのは1700年代後半で、1826年7月4日に亡くなったので、彼らは長い間、がんについて知っていたこととなります。50年後の日、彼とトーマス・ジェファソンは同じ日に死んだんです。

(Shawn：ホール博士はこのようなことをよく知っていますね) 何の役にも立たなけれど。でも重要なのは、彼らはずっと以前からがんについて知っていたということです。そしてもうひとつは、私がいつも言っているように、製薬産業の出現と共に文明が生まれたと考えている人たちとは違うということです。

現代医学が発達する以前から、人々は長い年月を生きてきました。私たちが今直面しているようながんになることもありませんでした。私たちのようにたくさんのもの物質に曝されることもなかったし、よい食べ物を手に入れて食べていました。そんなことが全部合わさって、必要な栄養素を摂取し、がんの芽を摘んでいたのかもしれませんが。昔はがんはとても珍しいことでしたが、今は珍しくありません。

Dr. Bill：これらの文献をすべてまとめました。すべてPUBMEDの論文で、そこから全文を入手することができます。

Shawn：それは素晴らしい！皆さん、ビル博士とホール博士の考えはどうでしたか。彼らはプロとして研究開発に人生を捧げてきました。これは別のビデオで紹介しますが、彼らが作った製品に配合されている原材料の効能が言う通りかどうか見極めてください。なぜかと言えば、インチキがとても多いからです。言いたくないけれど、医薬品にもインチキがあります。だから、食品のように規制がほとんどないものは、書いてあることと全く違うものである可能性があるんです。それについてはまた別の機会に話すとして、何か質問があれば、ビル博士やホール博士、あるいは私に連絡してください。ではまた。

この資料を提供するにあたって

動画の内容を理解するため、個人的に翻訳したものです。

誤訳等があっても責任は負いかねます。 作成 堺晶子